

くずは

2026. 5. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題「タイワンタケクマバチ」

4月20日、庭のブルーベリーの花が今を盛りと咲いていました。たくさんのミツバチに混じって、ひときわ体の大きい真っ黒なハナバチも花を訪れていました。クマバチもブルーベリーに訪花するんだなあと思って見ていたところ、いつも見かける胸の黄色いキムネクマバチの他に、胸の黄色が無い本当に全身真っ黒なハチが混じっていました。えっ、これってもしかして、今急激に増えているという外来種の「タイワンタケクマバチ」なの？そういえば、4月14日にはくずはの家の事務室に入ってきたと聞きました。

タイワンタケクマバチは中国南部からインド、台湾にかけて幅広く分布していて、その名の通り竹の枯れ木(竹)に穴を開けて営巣します。2006年に愛知県豊田市で初めて日本への侵入が確認されました。タイワンタケクマバチと名前が付いていますが、遺伝子解析により、愛知県豊田市の個体は中国本土から侵入した個体だと言うことです。豊田市にはもともと竹材を比較的大量に扱う業者があって、これらの業者が輸入も行ってきたそうです。これらの事実から、おそらく中国本土からタイワンタケクマバチが営巣した竹(乾燥竹)が名古屋港に輸入され、豊田市の竹貯木場に運ばれてから成虫が羽化してきたのではないかと推測されています。

現在、この外来昆虫である、タイワンタケクマバチによる被害らしい被害は報告されていません。しかし、



4/12(日)「ちびっこあつまれ～春の自然をさがそう～」(21人)

参加者の声 ・たくさん色が輝いていました。音も風も気持ちよかったです。かえるのお話がたのしかったです。かえるの合唱隊きれいでした。(大人)
・階段と下り、いつもと違うコースを進み、お花摘みもできて、冒険・探検してる感満載でした。(大人)

4/25(土)「ドキドキわくわく春の小川に生き物さがし」(17人)

参加者の声 ・正直なところ、私は虫が苦手で、子供に自然体験をさせたくて来たのですが、知ることによって私の苦手意識も減ったような気がします。(大人)
・ヘビトンボのようちゅうにあえてうれしかった。カゲロウのなかまが一番つかまえにくかった。(こども)

この竹貯木場ではかなりの数のタケクマバチが見られるようで、せっかく輸入した竹材が穴だらけにされ、使えなくなっているのではないかと想像されます。また、餌資源(花の花粉や蜜)を巡って、在来のキムネクマバチと何らかの競合が生じているのかも知れませんが、これについても現在のところ報告は無いようです。ただし、生き物の世界は複雑に絡み合っています。クマバチに寄生するダニがいるのですが、タイワンタケクマバチが侵入すると同時に、この寄生性のダニも一緒に侵入してきました。このダニは寄主特異性が高く、今のところ日本の在来種には影響がないようですが、寄主転換が起きて在来種に寄生する可能性がないわけではありません。



タイワンタケクマバチ

葛葉緑地ではアズマネザサの花が咲き、群落全体ではありませんが、花の咲いた周辺のササがかなりの範囲にわたって枯れています。あまり細いものには営巣しないでしょうが、太いものには営巣する可能性があるのか、営巣場所には事欠かないのではないのでしょうか。先日は事務室にも入ってきたと言うこともあり、今後は増えてくる可能性があります。新しい侵入者タイワンタケクマバチの動向に注目していく必要があります。

文・写真：くずはの広場所長 高橋孝洋

くずはの家 行事案内

日時	テーマ・講師	対象・定員	受付開始
5月21日(木) 22日(金) 18:30～20:30	「 ほたるの観察会 」 くずはの広場所長	小学生以上 各日30名	5月1日 21日のみ 残りわずか
5月23日(土) 9:30～11:30	「 広場で虫をさがそう 」 えのきの会昆虫分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 30名	5月1日
6月13日(土) 13:30～15:30	「 環境DNA講座～水を調べるだけでわかる！ 環境DNA調査ってなんだろう？～ 」 神奈川県環境科学センター職員	一般 15名	6月2日
6月14日(日) 9:30～11:30	「 知って安心！ 自分で調べるヤマビルのはみつ 」 くずはの広場指導員・ヤマビル同好会	小学生以上 20名	6月2日
6月27日(土) 9:30～11:30	「 野鳥観察と鳥の子育て 」 えのきの会野鳥分科会・くずはの広場指導員	小学生以上 20名	6月2日



4/29(水・祝)「春のつどい」(202人)

参加者の声 ・アカハライモリがぬるぬるしてた。のいちごがおいしかった。ハルジオンの外が花だと思ってたけど中が花でびっくりした。(こども)
・いろいろな発見があって子どもと一緒に楽しめました。子どもがニコニコして喜んでいました。ありがとうございました。
・くずはの広場全体をぐるっと一周できて楽しかったです。竹は盆栽します。おみやげいっぱい！また次も来ます。
・散歩しながらのプチクイズとても楽しめました。次回は家族で来たいと思います。(大人)

行事へのお申し込み・お問い合わせは

電話・FAX・メールで

TEL&FAX 0463(84)7874
E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

5月の休館日
7日、8日、11日、12日、13日、
18日、25日

6月の休館日
1日、8日、15日、
22日、29日

くずはの家 ホームページ

くずはの家 メールアドレス

秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

4月の活動

定例会：1回目は、広場や進入路の落ち葉や花殻掃き、館内のスリッパの清拭、ヤマビル用の塩の交換など、新年度を気持ちよく過ごせるよう、色々なものをきれいにしました。
2回目は、春のつどいに向けて広場の掃除や材料の準備をしました。

4月29日の春のつどいでは、いつもは縁の下の力持ちのボランティアさんたちも、くずはの自然観察指導員として大活躍でした！

花壇の会：花壇の中に生えてきたセイバヒエンソウを抜き取りました。名札も取り換えてきれいにしました。

とんぼのせせらぎ：遮光ネットを張り、住宅地の灯りが、ほたるの道に入らないようにしました。

☆これからの活動

定例会：5/21(木)、6/7(日)、6/18(木)
花壇の会：6/5(金)
とんぼのせせらぎ：5/28(木)

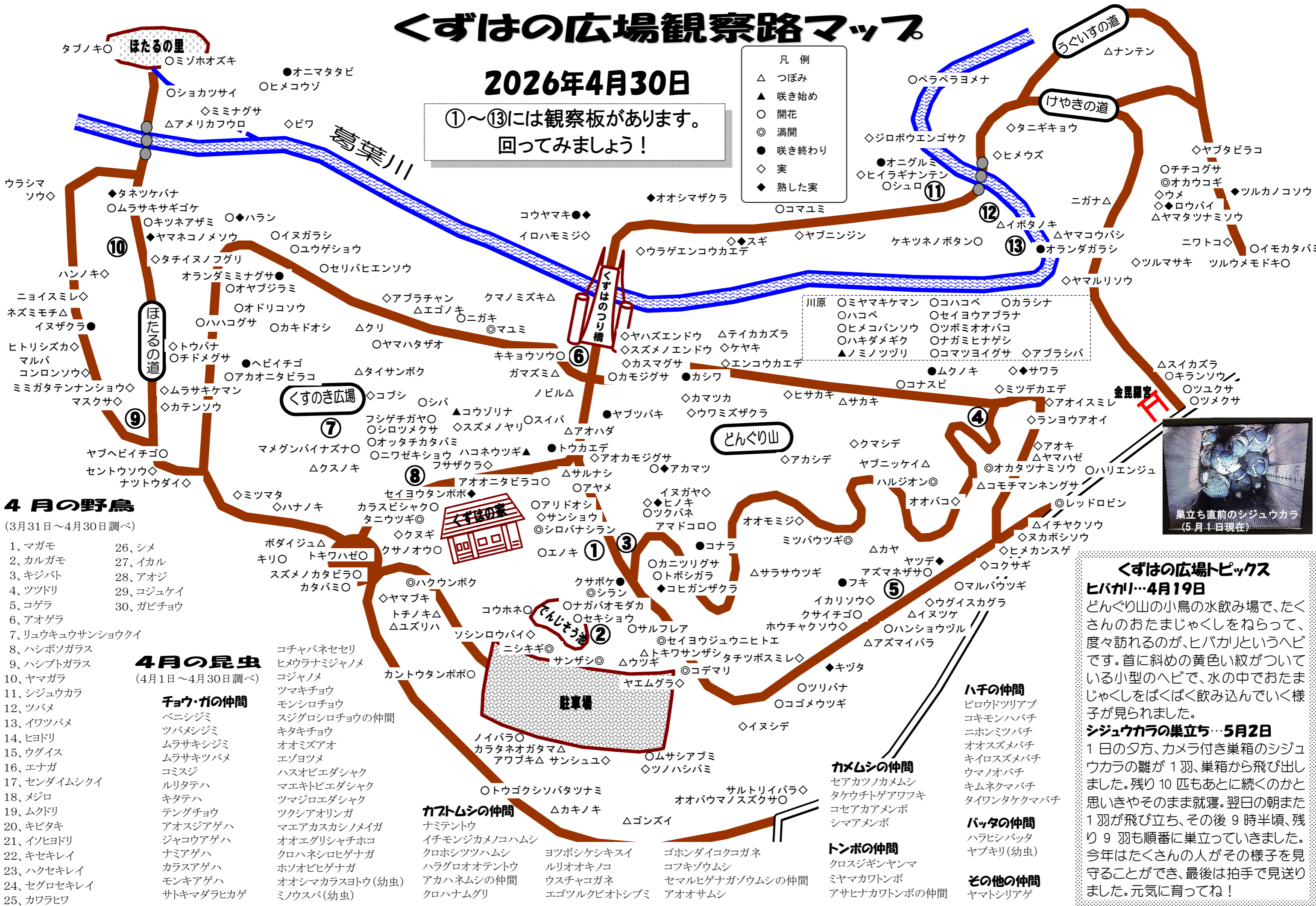
セブン・イレブ 記念財団

くずはの広場観察路マップ

2026年4月30日

①～⑬には観察板があります。
回ってみましょう！

- 凡例
- △ つぼみ
 - ▲ 咲き始め
 - 開花
 - ◎ 満開
 - 咲き終わり
 - ◇ 実
 - ◆ 熟した実



4月の野鳥

(3月31日～4月30日調べ)

- 1、マガモ
- 2、カルガモ
- 3、キジバト
- 4、ツツドリ
- 5、コゲラ
- 6、アオゲラ
- 7、リュウキュウサンショウクイ
- 8、ハンボソガラス
- 9、ハシブトガラス
- 10、ヤマガラ
- 11、シジュウカラ
- 12、ツバメ
- 13、イワツバメ
- 14、ヒヨドリ
- 15、ウグイス
- 16、エナガ
- 17、センダイムシクイ
- 18、メジロ
- 19、ムクドリ
- 20、キビタキ
- 21、イソヒヨドリ
- 22、キセキレイ
- 23、ハクセキレイ
- 24、セグロセキレイ
- 25、カワラヒワ
- 26、シメ
- 27、イカル
- 28、アオジ
- 29、コジュケイ
- 30、ガビチョウ

4月の昆虫

(4月1日～4月30日調べ)

- チョウ・ガの仲間**
- ベニシジミ
 - ツバメシジミ
 - ムラサキシジミ
 - ムラサキツバメ
 - コムシジ
 - ルリタテハ
 - キタテハ
 - テングチョウ
 - アオスジアゲハ
 - ジャコウアゲハ
 - ナミアゲハ
 - カラスアゲハ
 - モンキアゲハ
 - サトキマダラヒカゲ

- コチャバネセセリ
- ヒメウラナミジャノメ
- コジャノメ
- ツマキチョウ
- モンシロチョウ
- スジグロシロチョウの仲間
- キタキチョウ
- オオミズアオ
- エゾツメ
- ハスオビエダシヤク
- マエキトビエダシヤク
- ツマジロエダシヤク
- ツクシアオリンガ
- マエアカスカシノメイガ
- オオエグリシャチホコ
- クロハネシロヒゲナガ
- ホソオビヒゲナガ
- オオシマカラスヨトウ(幼虫)
- ミノウスバ(幼虫)

- カブトムシの仲間**
- ナミデントウ
 - イチモンジカメノコハムシ
 - クロホシツツハムシ
 - ハラグロオオデントウ
 - アカハネムシの仲間
 - クロハナムグリ

- ヨツボシケンキスイ
- ルリオオキノコ
- ウスチャコガネ
- エゴツルクビオトシブミ

- ゴホンダイコクコガネ
- コフキゾウムシ
- セマルヒゲナガゾウムシの仲間
- アオオサムシ

- カメムシの仲間**
- セアカツノカメムシ
 - タケウチトゲアワフキ
 - コセアカアメンボ
 - シマアメンボ

- ハチの仲間**
- ビロウドツリアブ
 - コキモンハバチ
 - ニホンミツバチ
 - オオスズメバチ
 - キロスズメバチ
 - ウマノオバチ
 - キムネクマバチ
 - タイワンタケクマバチ

- バッタの仲間**
- ハラヒシバタ
 - ヤブキリ(幼虫)

- その他の仲間**
- ヤマトシリアゲ



巣立ち直前のシジュウカラ (5月1日現在)

くずはの広場トピックス

ヒバカリ…4月19日

どんぐり山の小鳥の水飲み場で、たくさんのおたまじゃくしをねらって、度々訪れるのが、ヒバカリというヘビです。首に斜めの黄色い紋がついている小型のヘビで、水の中でおたまじゃくしをばくばく飲み込んでいく様子が見られました。

シジュウカラの巣立ち…5月2日

1日の夕方、カメラ付き巣箱のシジュウカラの雛が1羽、巣箱から飛び出しました。残り10匹もあとに続くのかと思いきやそのまま就寝。翌日の朝また1羽が飛び立ち、その後9時半頃、残り9羽も順番に巣立っていきました。今年はたくさんの方がその様子を見守ることができ、最後は拍手で見送りました。元気に育ってね！